

最初にお読み下さい

E a s y R e c o v e r y をインストールしようとしている機器が以下の状態にある時は夫々の指示に従って下さい。

手順を間違えますと救えるデータに上書きし、回収出来なくなってしまうます。

また、以下の手順をお守り頂いてもデータの回収が出来ない事があります。これはOSが動作している限り各ドライブに対しアクセスをしており、必要な場合OS自体がファイルを書く為予測出来ない上書きが起きているからです。

E a s y R e c o v e r y はCD-ROMからの実行が可能ですのでCD-ROMが常設動作している環境では特にインストールしておく必要はありません。

1. 現在データの回収を必要とする状態にはない。

E a s y R e c o v e r y のインストールはその過程で150MB+の作業空間を使用致します。インストール後の占有容量は50MB+です。HDDの空き容量をご確認の上、本ソフトウェアをインストールして下さい。

2. 既に削除したファイルを回収したい等の状態にある。

プログラムのインストール、起動等、OSの全ての動作は起動ドライブに対して何らかの書き込みが行われるものと考えて下さい。このソフトをインストールするとその区画は200MB以上、上書きされる事を意味します。

2-1. 起動ドライブ（一般的にはC:）だけです。

この環境の場合は、次の前準備をして頂かねばなりません。

- ・ ネットワークに接続環境
回収結果を収納する為に使用出来る割当て済のドライブがあれば、この上に回収結果を入れるフォルダを準備して下さい。
割当て済みのドライブがなければエクスプローラのツールから割当てを行い、フォルダを準備して下さい。
- ・ スタンドアローン環境
その機器をネットワークに接続した事がある、PCMCIA若しくはUSB外付けHDD装置等を接続した事がある。
この場合は回収データ収納媒体をその中から選択して接続し、フォルダを準備して下さい。
- ・ 対象区画以外にデータを収納する領域がない。
FDにZIP圧縮で回収する以外ありません。

2-2. 起動区画以外に回収結果を収納するに足る空き区画がある。

この場合には処理の対象となる区画以外に回収の結果を収納するフォルダを準備して下さい。

以上の準備をした上で、必ずCD-ROMからプログラムを実行して下さい。

絶対にE a s y R e c o v e r y のインストールは行わないで下さい。

また、処理対象区画をE a s y R e c o v e r y の出力側に使用しないで下さい。